

令和 4 年 6 月 10 日現在

機関番号：34504

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2017～2021

課題番号：17H00971

研究課題名(和文) 民主主義の分断と選挙制度の役割

研究課題名(英文) Divided Democracies and Roles of Electoral System

研究代表者

山田 真裕 (YAMADA, Masahiro)

関西学院大学・法学部・教授

研究者番号：40260468

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 36,440,000円

研究成果の概要(和文)：2017年衆議院総選挙後に、全国標本を対象にして面接調査を行った。この邦語データは東京大学SSJデータアーカイブから、また英語データはcses.orgにおいて国際比較データとして公開されている。得られた主要な知見としては、1) 所得の不平等が増すことが、選挙の正当性を疑わせる、2) 国際比較調査CSESで用意されたポピュリズム測定指標は、野党側についてはよく機能しているが、与党側に対してはさほどでもない、3) 権威主義的価値観がいまだに自民党への投票に対して説明力を有する、といった点である(いずれも国際査読誌に掲載)。

研究成果の学術的意義や社会的意義

国際比較調査の枠組に沿った日本データの取得および英語でのデータ並びに研究成果の公開によって、現在の日本の国際的な立ち位置が明確となった。日本におけるポピュリズムはこれまで地方政治や特定の政治家のリーダーシップから説明されることが多かったが、有権者を分析対象とすることによって、右翼的なポピュリズムの体制内化が可視化された。結果的に日本のポピュリズムは既成の政治エリートへの不信を伴わないものとして具現化されていることとなり、これは国際的にも興味深い知見である。

研究成果の概要(英文)： We designed and carried out national survey via face-to-face mode after the general election in 2017. The Japanese version of the dataset is released at the SSJ Data Archive at University of Tokyo, and the English version is on cses.org as a part of cross-national dataset.

Our key finding are below; 1) growing income inequality may challenge the legitimacy of democratic elections; 2) the existing scales of populist attitudes effectively explain voting for populists in countries where populist leaders and parties are in opposition but fail to explain voting for populist parties in countries where they are in power; 3) individual authoritarian dispositions still contributes to the vote choice for the Liberal Democratic Party.

研究分野：政治学

キーワード：ポピュリズム 分断 エリート 選挙 投票行動 有権者

## 1. 研究開始当初の背景

研究代表の山田は 2016 年より国際共同研究プロジェクトである Comparative Study of Electoral Systems (cses.org) に Planning Committee に参加し、調査の設計に関与している。CES Module 5 の研究テーマは「民主主義の分断？人民、政治家、ポピュリズムの政治」である。近年多くの先進民主主義国において、有権者の不満につけ込み極端な主張で支持を糾合するポピュリズムといわれる現象が観察されている。

これらの現象の背後には移民の増加や貧富の差の拡大を原因とする有権者の分断や自文化中心主義 (ethnocentrism) が存在するのだろうか (Kinder and Kam 2008)。言い換えると、社会経済環境の変化が移民・外国人労働者への排外的態度や社会経済的な不公平感と結びつき、それがポピュリスト候補の支持といった有権者の政治判断や投票行動に影響を及ぼしているのだろうか。これが CES Module 5 の基本的なリサーチ・クエスチョンであった。

一方、日本においても東京、大阪、名古屋などの都市を中心にポピュリズムとみなされる現象が散見された。よって日本においても上記のリサーチ・クエスチョンは relevant である。特に日本を研究の対象とすることには大きな学問的・政策的含意がある。日本は先進国の中でも社会経済的に最も平等な国と考えられ、かつ、それが故に、高い平均寿命や他者に対する信頼に基づいた効率的な社会を実現してきたと言われる (Wilkinson and Pickett 2009)。また民族的多様性も低く、集団間の対立はこれまで大きな政治問題とはなっていない。しかし、近年になり日本においても急速に社会経済的な格差が拡大しており、またヘイトスピーチなどに代表される排外主義や日本会議のような復古的価値を重視する勢力が影響力を増している。急激な社会変化に伴う集団間の対立は如何なる政治的選択に繋がっているのか、あるいは、集団間の対立は政治的表現を得ずに潜在的なままにとどまるとしたらそれはなぜかを諸外国との対比で明らかにすることは、日本だけでなく同じような問題に直面する他の民主主義諸国にとっても重要である。

## 2. 研究の目的

本研究は以下の 3 つの目的を有する。第 1 に分断化が進む民主主義社会において社会経済的不平等、貧困、移民・外国人労働者など外集団への態度等が、選挙を通じて政党政治に与える影響を検証する。第 2 に日本における社会経済的対立や価値観を巡る相克が、選挙制度を媒介として、いかに政治的対立へと結びついているかを検討する。第 3 に、回収率が高く欠損値の少ない良質な面接調査を取得する方法の開発を目指す。

## 3. 研究の方法

上記の目的を達成するために、2017 年衆院選後調査において CES Module 5 に基づき、全国的な層化 2 段階無作為抽出方法によって得られた標本に対して、訪問面接と訪問面接拒否者に対する郵送調査によってさらなるデータの収集と分析を行なった。この結果、訪問面接調査の回収率は 50.7%であったが、郵送回答者を加えることで 54.9%の回収率を得た。加えて 2017 年調査の知見の頑健性を確認するために、2019 年にワンショットのインターネット調査を、2021 年衆院選においては、インターネットを介したパネル調査を行った。

## 4. 研究成果

取得したデータについては以下のようになっている。

2017 年衆院選調査データは、日本語版を東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターが運営する SSJ データアーカイブに寄託し公開している (調査番号 1356, 調査名「民主主義の分断と選挙制度の役割: CES モジュール 5 日本調査, 2018」, 寄託者: 山田真裕・前田幸男・日野愛郎・松林哲也, <https://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/Direct/gaiyo.php?eid=1356>)。また英語化された日本データは国際比較のために、CES 事務局に寄託し、2022 年 3 月から CES のウェブサイトにおいて公開されている (<https://cses.org/data-download/cses-module-5-2016-2021/>)。

2019 年のインターネット調査データは、山田の Researchmap においてコードブックとデータを公開している

([https://researchmap.jp/multidatabases/multidatabase\\_contents/detail/239632/95d79a0f1f904575c4b312aff244fb5a?frame\\_id=750043](https://researchmap.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/239632/95d79a0f1f904575c4b312aff244fb5a?frame_id=750043)).

2021年衆院選前後のパネル調査（インターネット）については、現在公開に向けてデータクリーニングやコードブック作成作業を進めている。

研究業績としては論文15編（うち査読論文8，国際共著5），学会発表23件（うち国際学会での報告は18件），図書6件などがある。

現時点で得られた主要な知見としては，(1) 所得の不平等が増すことは政治的不平等を悪化させることはないかもしれないが，選挙の正当性を疑わせること（Matsubayashi and Sakaiya 2021）. (2) CSES M5 のポピュリスト的態度の測定指標は，野党側のポピュリスト・リーダーやポピュリズム政党についてはよく説明するが，政権与党側のそれについてはうまく説明できないこと（Jungkunz, Fahey, and Hino 2021）, (3) 権威主義的価値観が自民党への投票を説明する効果を未だに強く有していること（Berlucchi and Hino 2022）などがあり，いずれも国際査読誌に掲載されている。

また近日中に公刊予定の共著論文（Kagotani and Yamada, forthcoming）では，2021年のパネル調査データを用いて，同年衆院選前後の内閣支持と投票行動を分析している。この分析の結果は，菅義偉から岸田文雄への首相交代が自民党に対する好感度を改善し，自民党票の獲得に貢献したことを示唆している。この共著論文は，“Politics under Pandemic: How COVID-19 Reshapes the Political Landscape in Taiwan and Beyond,” という国際共編著の1章として収録，公刊される予定である。

なお，CSES Module 5 のデータ収集ならびに寄託作業と並行して，研究代表者の山田は CSES Module 6 の Planning Committee の一員として Module 6 調査の設計に関わった。Module 6 の質問票は CSES のウェブサイト (<https://cses.org/collect-data/>) において公開されている。山田は Module 6 の設計にあたっては，3M (micro, macro, metadata) subcommittee の chair として，各国選挙調査の macro report に含まれるべき要素の整理，選挙区レベルデータに含まれるべき変数についての提案，CSES のデータセットに付されるべき metadata の内容とその取扱いについて議論をとりまとめ，subcommittee report の編集にあたった。こうして完成した Module 6 としてのデータ収集は 2022 年度より世界各地で始まるが，日本におけるデータ収集は今後の課題である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計15件（うち査読付論文 8件 / うち国際共著 5件 / うちオープンアクセス 3件）

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Yoshikui Ono, and Masahiro Yamada  | 4. 巻<br>Vol. 8, No. 3 |
| 2. 論文標題<br>Do voters prefer gender stereotypic candidates? evidence from a conjoint survey experiment in Japan   | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>Political Science Research and Methods   | 6. 最初と最後の頁<br>477-492 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1017/psrm.2018.41   | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-             |
| 1. 著者名<br>Tetsuya Matsubayashi and Shiro Sakaiya   | 4. 巻<br>66            |
| 2. 論文標題<br>Income inequality and income bias in voter turnout  | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>European Journal of Political Economy  | 6. 最初と最後の頁<br>1-27    |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1016/j.ejpolco.2020.101966  | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-             |
| 1. 著者名<br>Robert A. Fahey, Airo Hino   | 4. 巻<br>55            |
| 2. 論文標題<br>COVID-19, digital privacy, and the social limits on data-focused public health responses  | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>International Journal of Information Management  | 6. 最初と最後の頁<br>1-5     |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1016/j.ijinfomgt.2020.102181  | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）  | 国際共著<br>-             |
| 1. 著者名<br>Luigi Curini, Airo Hino and Atsushi Osaki  | 4. 巻<br>55            |
| 2. 論文標題<br>The Intensity of Government & Opposition Divide as Measured through Legislative Speeches and What We Can Learn from It: Analyses of Japanese Parliamentary Debates, 1953-2013 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>Government and Opposition  | 6. 最初と最後の頁<br>184-201 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1017/gov.2018.15  | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>該当する          |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Song, J., 日野愛郎               | 4. 巻<br>Vol. 36, No.1 |
| 2. 論文標題<br>マルチレベル選挙における動員と選挙疲れ         | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『選挙研究』                       | 6. 最初と最後の頁<br>23-34   |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Knobloch-Westerwick, S., Liu, L., Hino, A., Westerwick, A., & Johnson, B. K.  | 4. 巻<br>Vol.45, No.4  |
| 2. 論文標題<br>Context Impacts on Confirmation Bias: Evidence From the 2017 Japanese Snap Election Compared with American and German Findings | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>Human Communication Research  | 6. 最初と最後の頁<br>427-449 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1093/hcr/hqz005  | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>該当する          |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Hino, A. and Fahey, R.  | 4. 巻<br>48            |
| 2. 論文標題<br>Representing the Twittersphere: Archiving a representative sample of Twitter data under resource constraints | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>International Journal of Information Management   | 6. 最初と最後の頁<br>175-184 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1016/j.ijinfomgt.2019.01.019   | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-             |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Hino, A. and Ogawa, H   | 4. 巻<br>58            |
| 2. 論文標題<br>Japan: Political development and data for 2018                 | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>European Journal of Political Research, Political Data Yearbook | 6. 最初と最後の頁<br>162-169 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1111/2047-8852.12269                       | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                    | 国際共著<br>-             |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>Tetsuya Matsubayashi, Kelan Lu                   | 4. 巻<br>32         |
| 2. 論文標題<br>Age and Turnout in Aging Societies              | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>International Journal of Public Opinion Research | 6. 最初と最後の頁<br>1-14 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1093/ijpor/edz044           | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                     | 国際共著<br>該当する       |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>山田真裕                         | 4. 巻<br>63          |
| 2. 論文標題<br>「政治参加における社会経済的バイアスの国際比較と日本」 | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>『レヴァイアサン』                    | 6. 最初と最後の頁<br>30-41 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>山田真裕                         | 4. 巻<br>91(1)       |
| 2. 論文標題<br>「世代と政治」                     | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>『法律時報』                       | 6. 最初と最後の頁<br>46-51 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|   |                   |
|---|-------------------|
| 1. 著者名<br>山田真裕                                | 4. 巻<br>734       |
| 2. 論文標題<br>「CSES (選挙制度の国際比較) 調査 - その目的と意義 - 」 | 5. 発行年<br>2018年   |
| 3. 雑誌名<br>『中央調査報』                             | 6. 最初と最後の頁<br>1-7 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)        | 国際共著<br>-         |

|  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名<br>Burden, Barry C., Yoshikuni Ono, and Masahiro Yamada | 4. 巻<br>79(3)           |
| 2. 論文標題<br>"Reassessing Public Support for a Female President" | 5. 発行年<br>2017年         |
| 3. 雑誌名<br>The Journal of Politics                              | 6. 最初と最後の頁<br>1073-1078 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1086/691799                     | 査読の有無<br>有              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                          | 国際共著<br>該当する            |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>松林哲也                         | 4. 巻<br>33          |
| 2. 論文標題<br>期日前投票制度と投票率                 | 5. 発行年<br>2017年     |
| 3. 雑誌名<br>『選挙研究』                       | 6. 最初と最後の頁<br>58-72 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>該当する        |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>今井亮祐・日野愛郎・千葉涼   | 4. 巻<br>61          |
| 2. 論文標題<br>熟慮の質に関する指標化の試み Reasoning Quality Index (RQI) とArgument Repertoire (AR) の比較を通して | 5. 発行年<br>2017年     |
| 3. 雑誌名<br>『レヴァイアサン』   | 6. 最初と最後の頁<br>61-93 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし  | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-           |

〔学会発表〕 計23件(うち招待講演 3件/うち国際学会 18件)

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Fahey, R. A., Hino, A., Camatarri, S., & Jungkunz, S.               |
| 2. 発表標題<br>Belief in Conspiracy Theories and Socio-Political Identity in Japan |
| 3. 学会等名<br>American Political Science Association Annual Conference (国際学会)     |
| 4. 発表年<br>2020年  |

|                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>前田幸男, 山田真裕, 日野愛郎, 松林哲也     |
| 2. 発表標題<br>「民主主義の分断と選挙制度の役割：調査データの概要」 |
| 3. 学会等名<br>日本選挙学会                     |
| 4. 発表年<br>2019年                       |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Hino, A. and Camatarri, S  |
| 2. 発表標題<br>Demand meets supply: How policy offers condition voting for challenger parties |
| 3. 学会等名<br>American Political Science Association Annual Meeting (国際学会)                   |
| 4. 発表年<br>2019年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Fahey, R. Jungkunz, S. and Hino, A.                |
| 2. 発表標題<br>Populist attitudes and party preferences in Japan  |
| 3. 学会等名<br>North-eastern Workshop on Japanese Politics (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Hino, A. and Blais, A.  |
| 2. 発表標題<br>District magnitude and manifesto coordination: Analyses of Japanese local elections |
| 3. 学会等名<br>Conference on Multifaceted Values in Multilevel Contexts (国際学会)                     |
| 4. 発表年<br>2019年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>小椋郁馬・前田幸男  |
| 2. 発表標題<br>Comparing the Subjective and Objective Measures of Political Knowledge |
| 3. 学会等名<br>計量・数理政治学のフロンティア  |
| 4. 発表年<br>2019年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Endo, M, Foret, F, and Hino, A.   |
| 2. 発表標題<br>Decline of Pillarisation in Europe, resilience in Japan? The case of value-based parties: Komeito and Christian democracy |
| 3. 学会等名<br>Conference on Multifaceted Values in Multilevel Contexts (国際学会)   |
| 4. 発表年<br>2019年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Gonthier, F. Jou, W., and Hino, A                               |
| 2. 発表標題<br>A rise of authoritarian values in Japan and Europe?             |
| 3. 学会等名<br>Conference on Multifaceted Values in Multilevel Contexts (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>日野愛郎、千葉涼、吉光寺智紀   |
| 2. 発表標題<br>計量テキスト分析による政党システム分極化の測定 - 政党マニフェストのアーカイブ化とWordfishによる政党位置の推定 (1996年~2017年) |
| 3. 学会等名<br>日本政治学会   |
| 4. 発表年<br>2019年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Camatarri, S., and Hino, A.   |
| 2. 発表標題<br>Populist dynamics: Interplay between parties' rhetoric & voters' attitudes in shaping electoral results |
| 3. 学会等名<br>3rd Waseda Brussels Conference (国際学会)   |
| 4. 発表年<br>2019年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Hino, A., Fahey, R., Jungkunz, S.                               |
| 2. 発表標題<br>Populist voters & political trust in Europe & Japan             |
| 3. 学会等名<br>Conference on Multifaceted Values in Multilevel Contexts (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Camatarri, S., Gallina, M., and Hino, A.  |
| 2. 発表標題<br>Party competition in voters' mind: Simulating the role of policy issues - The case of the Japanese Upper House election in 2019 |
| 3. 学会等名<br>The 3rd Winter Meeting of Japanese Society of Quantitative Political Science (国際学会)   |
| 4. 発表年<br>2020年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Yamada, Masahiro                              |
| 2. 発表標題<br>"Voting Behavior in the 2017 Snap Election"   |
| 3. 学会等名<br>American Political Science Association (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2018年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Maeda, Yukio  |
| 2. 発表標題<br>"The image of prime minister in voters' mind: The analysis of open-ended questions from a Japanese election survey" |
| 3. 学会等名<br>American Political Science Association (国際学会)   |
| 4. 発表年<br>2018年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Hino, Airo, and Masahisa Endo  |
| 2. 発表標題<br>"Lost in Translation?: Testing the Validity of Ideological Scales in Japan." |
| 3. 学会等名<br>American Political Science Association (国際学会)                                |
| 4. 発表年<br>2018年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Matsubayashi Tetsuya, and Shuhei Kitamura     |
| 2. 発表標題<br>"Procrastinating Voters: Evidence from Japan" |
| 3. 学会等名<br>Asian Political Methodology Meeting (国際学会)    |
| 4. 発表年<br>2019年  |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>松林哲也                |
| 2. 発表標題<br>「シルバー民主主義と2017年衆院選」 |
| 3. 学会等名<br>日本政治学会              |
| 4. 発表年<br>2018年                |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Tetsuya Matsubayashi and Shiro Sakaiya             |
| 2. 発表標題<br>Income Inequality and Income Bias in Voter Turnout |
| 3. 学会等名<br>American Political Science Association (国際学会)      |
| 4. 発表年<br>2017年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Hino, A., Imai, R., and Chiba, R.  |
| 2. 発表標題<br>Deliberating through perspectives: Evidence from mini-publics experiments in Japan |
| 3. 学会等名<br>General Conference, European Consortium for Political Research (国際学会)              |
| 4. 発表年<br>2017年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>日野愛郎、千葉涼、今井亮佑                |
| 2. 発表標題<br>ミニ・パブリックスにおける発言と態度変化に関する実証分析 |
| 3. 学会等名<br>日本政治学会2017年度総会・研究大会          |
| 4. 発表年<br>2017年                         |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Hino, A. and Camatarri, S.                              |
| 2. 発表標題<br>Electoral bases of challenger parties in Western Europe |
| 3. 学会等名<br>West-European politics in 2017 (招待講演) (国際学会)            |
| 4. 発表年<br>2017年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Hino, A. and Blais, A.   |
| 2. 発表標題<br>Effects of district magnitude on manifesto coordination: Evidence from candidate manifestos compared across prefectural and municipality levels in Japan |
| 3. 学会等名<br>Workshop on 'Manifesto coordination in multi-level settings' (招待講演) (国際学会)   |
| 4. 発表年<br>2017年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Jou, W. and Hino, A.         |
| 2. 発表標題<br>Nationalism in Asia          |
| 3. 学会等名<br>EU-Japan Forum (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2017年                         |

〔図書〕 計6件

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>Henrik Oscarsson and Soren Holmberg        | 4. 発行年<br>2020年 |
| 2. 出版社<br>Edward Elgar Publishing, Inc.              | 5. 総ページ数<br>400 |
| 3. 書名<br>Research Handbook on Political Partisanship |                 |

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>Takeo Hoshi and Phillip Y. Lipsy                                 | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>Cambridge University Press                                       | 5. 総ページ数<br>420 |
| 3. 書名<br>The Political Economy of the Abe Government and Abenomics Reforms |                 |

|   |                 |
|---|-----------------|
| 1. 著者名<br>Robert J. Pekkanen and Saadia M. Pekkanen | 4. 発行年<br>2020年 |
| 2. 出版社<br>Oxford University Press                   | 5. 総ページ数<br>700 |
| 3. 書名<br>The Oxford Handbook of Japanese Politics   |                 |

|                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>山田真裕             | 4. 発行年<br>2017年 |
| 2. 出版社<br>木鐸社              | 5. 総ページ数<br>183 |
| 3. 書名<br>二大政党制の崩壊と政権担当能力評価 |                 |

|                                |                 |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>田中愛治（編著）             | 4. 発行年<br>2018年 |
| 2. 出版社<br>勁草書房                 | 5. 総ページ数<br>228 |
| 3. 書名<br>熟議の効用・熟慮の効果 政治哲学を実証する |                 |

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>池田謙一（編著）                           | 4. 発行年<br>2018年 |
| 2. 出版社<br>勁草書房                               | 5. 総ページ数<br>275 |
| 3. 書名<br>「日本人」は変化しているのか 価値観・ソーシャルネットワーク・民主主義 |                 |

〔産業財産権〕

〔その他〕

「民主主義の分断と選挙制度の役割：CSES モジュール5 日本調査，2018」  
<https://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/Direct/gaiyo.php?eid=1356>  
 「日本の社会と政治に関する意識調査（2019年）」コードブック  
[https://researchmap.jp/multidatabases/multidatabase\\_contents/detail/239632/95d79a0f1f904575c4b312aff244fb5a?frame\\_id=750043](https://researchmap.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/239632/95d79a0f1f904575c4b312aff244fb5a?frame_id=750043)  
 Researchmap 山田真裕  
<https://researchmap.jp/read0182752>  
 Researchmap 前田幸男  
<https://researchmap.jp/PublicOpinionYmaeda>  
 Researchmap 日野愛郎  
<https://researchmap.jp/read0150918/>  
 Researchmap 松林哲也  
<https://researchmap.jp/tmatsubayashi>  
 民主主義の分断と選挙制度の役割  
<https://sites.google.com/view/cses5-japan/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>  
 山田真裕（リサーチマップ）  
<https://researchmap.jp/read0182752/>  
 民主主義の分断と選挙制度の役割  
<https://sites.google.com/view/cses5-japan/>  
 関西学院大学 政治行動研究センター  
<https://sites.google.com/site/cspbkgu/home>

6. 研究組織

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                             | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                    | 備考 |
|-------|---|--|----|
| 研究分担者 | 前田 幸男<br><br>(MAEDA Yukio)<br><br>(30347257)          | 東京大学・社会科学研究所・教授<br><br><br><br>(12601)   |    |
| 研究分担者 | 日野 愛郎<br><br>(HINO Airo)<br><br>(30457816)            | 早稲田大学・政治経済学術院・教授<br><br><br><br>(32689)  |    |
| 研究分担者 | 松林 哲也<br><br>(MATSUBAYASHI Tetsuya)<br><br>(40721949) | 大阪大学・国際公共政策研究科・教授<br><br><br><br>(14401) |    |

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                            | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                | 備考 |
|-------|--|--------------------------------------|----|
| 連携研究者 | 池田 謙一<br><br>(IKEDA Ken'ichi)<br><br>(30151286)      | 同志社大学・社会学部・教授<br><br><br><br>(34310) |    |
| 連携研究者 | 西澤 由隆<br><br>(NISHIZAWA Yoshitaka)<br><br>(40218152) | 同志社大学・法学部・教授<br><br><br><br>(34310)  |    |

6. 研究組織（つづき）

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                         | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                      | 備考 |
|-------|---|--|----|
| 連携研究者 | 遠藤 晶久<br><br>(ENDO Masahisa)<br><br>(80597815)    | 早稲田大学・社会科学総合学院・准教授<br><br><br><br>(32689)  |    |
| 連携研究者 | 境家 史郎<br><br>(SAKAIYA Shiro)<br><br>(70568419)    | 東京大学・大学院法学政治学研究科・教授<br><br><br><br>(12601) |    |
| 連携研究者 | 稲増 一憲<br><br>(INAMASU Kazunori)<br><br>(10582041) | 関西学院大学・社会学部・教授<br><br><br><br>(34504)      |    |
| 連携研究者 | 久保 浩樹<br><br>(KUBO Hiroki)<br><br>(40789559)      | 明治学院大学・法学部・准教授<br><br><br><br>(32683)      |    |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |  |  |  |
|---------|---------|--|--|--|
| スウェーデン  | ヨーテボリ大学 |  |  |  |